

KiKiの広場

2016年 12月 1日

cafe NO.74
KiKi



早いもので、2016年最後の月になりました。年初めにいろいろやりたい、やらねばと思っていたことを、いったいどれほど達成できたのでしょうか？「ん？まさか？もしかして？1つもできていない？」💦💦💦 思い起こすと焦ってしまうので考えるのはやめますが、せめて家事の1つくらい胸張ってやりきったあ！！と言えるものがほしい今日この頃です。



みなさま、今年も大変お世話になりました。来年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

12月の予定	
休館日	13日(火)
定休日	毎土・日曜日
年末年始休み	29日(木)～3日(火)



🍰「今月のケーキ」…「ガトーショコラ」350円 🍰
シンプルなものにも深い味わいがある定番の人気者です。ベルギー産のチョコレートを使用し、甘味を抑えた濃厚な口当たりで手作り感あふれる逸品です。温かいケーキとしてもお召し上がりいただけます。

🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸 今月のお気に入り…「ピアトリス・ポターの世界」



～「ピアトリス・ポター 描き、語り、田園をいつくしんだ人」「ピーターラビットのすべて」「MOE 9月号」などなど～

絵本の世界でうさぎと言えば、「ピーターラビット」。世界中で愛されて続けているうさぎですね。今年は、その作者のピアトリス・ポター生誕150周年です。今年の締めくりに、「ピーターラビット」のお話だけでなくポターにちなんだ本を選んでみました。美しい絵本原画やポターが愛した湖水地方の風景、そしてポターの想いに触れたいと思います。



今月の本棚…「子どもも大人もクリスマス大好き！！」

～「クリスマスツリー」「モミの木」「マッチ売りの少女」「メリークリスマスおおかみさん」「おおきいツリーちいさいツリー」など～



日本のクリスマスは、山口市のザビエル記念聖堂から始まったとされています。山口市は12月になるとクリスマス市になるそうです。今や子どもにとっても大人にとっても最大のイベントとなったクリスマスが、こんなに身近なところから生まれたとは、ちょっぴり嬉しくなるような事実です。

「クリスマスツリー」は、写真絵本です。とにかく美しいツリーの写真、そしてその1枚から家族の様子や飾りの意味などが見えてきて、温かい気持ちになれる本です。ちなみに作者の写真家吉村和敏さんの作品に、「あさの絵本」というのがあります。生まれてくる朝の息をのむような美しい写真と、谷川俊太郎さんの語りかけるような詩が五感に響きます。こちらもぜひ見てもらいたい素敵な本です。「モミの木」は、先月取り上げたアンデルセンの絵本です。早く大きくなりたいと願うモミの木でしたが・・・。本当の幸せとは何か、とても考えさせられるお話です。



ほっとフレイク

イベントの準備の合間にカレーを食べに来られた女性が、「かわいいお店ですね。」と声をかけてくださいました。そのうちカウンターの上に置いてある「こどもの広場」のパンフレットに気付かれて、「何か関係があるんですか？」



と聞かれたので、「オーナーがKiKiの責任者で、角野栄子さんとお友だちなので、「魔女の宅急便」のキキから名前をいただいたんですよ。」というお話をしました。「それでね！！さっきから「こどもの広場」と雰囲気似ているなあって思ってたんです。」と言われました。何度も行かれており、甥っ子さんたちが定期的に本の購入をされているそうです。今度2歳と0歳の姪にプレゼントしたいと言われたので、姪っ子さんたちと一緒に、子育て真っ最中のお母さんにも、何かホッとできる絵本はどうですか？とお勧めしました。そして選ばれたのは、赤ちゃんが生まれて、精一杯お姉ちゃんとして頑張るなっちゃんが主役の「ちよっただけ」でした。健気ななっちゃんとお母さんのなっちゃんを包み込むような言葉に、胸がキュンとなって思わず涙が出てしまう優しい絵本です。ステキなプレゼントになることを願っています。

